

第7期埼玉県障害者支援計画に盛り込む主な施策(案)

埼玉県手話環境施策推進懇話会からの意見より

No	第6期 施策番 号	施策内容	担当課
1	107 122	手話は言語であるという認識の下、ろう者とろう者以外の者が手話により意思疎通を行い共生することを目指し、手話通訳者の養成及び広域的な手話通訳者の派遣、並びに盲ろう者向け通訳・介助員の養成・派遣に努め、聴覚障害者や盲ろう者のコミュニケーション手段の確保・充実を図ります。また、市町村が行う手話通訳者の養成及び派遣の質の向上、 <u>安心・安全に働ける環境の構築</u> に向けて、市町村を支援します。	障害者福祉推進課
2	113	IT(情報通信技術)の急速な進展に対応するため、 <u>障害特性に配慮したIT講習会の開催やITサポート推進員などの活用などにより、障害者のIT技能の向上と情報格差の解消を図ります。</u>	障害者福祉推進課
3	116	聴覚障害児が様々な選択肢の中から早期に適切な支援を受けられるよう、保護者などからの相談に対応し、人工内耳・補聴器・手話などに関する適切な情報を提供します。 <u>また、関係機関と連携し、埼玉県聴覚障害児支援センターの相談窓口を周知します。</u>	障害者福祉推進課
4	118	ICTによる遠隔手話サービスの導入、 <u>電話リレーサービスの普及啓発など聴覚障害者の情報保障の拡充を進めます。</u>	障害者福祉推進課
5	282	障害者や高齢者など全ての人々が利用しやすい県有施設に改善するため、 <u>障害者対応トイレの設置や視覚及び聴覚による情報保障の整備など、バリアフリー化を推進します。</u>	管財課 財務課
6	新	<u>2025年デフリンピックの周知を図り、ろう者スポーツの普及啓発を行います。また、ろう者スポーツを含む障害者スポーツと一緒に楽しむことができるイベントなどを通じて、共生社会の実現を目指します。</u>	スポーツ振興課